

2023 年度 社会福祉法人 めやす箱 地域生活部門
事業報告

(1) 地域生活部門事業

- ・倉敷市生活困窮者自立相談支援事業
- ・倉敷市生活困窮者家計改善支援事業
- ・倉敷市アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

(2) 地域生活部門目標における具体的な取り組み

法人理念及び基本方針を基に、2023 年度部門目標を下記事項に定める。

- ① 生活困窮者・被災者の主訴に対し専門的観点から適切な支援を行う
- ② 関係機関と協働した生活困窮者の早期発見・早期支援の実践
- ③ 生活困窮者の意思を尊重し、寄り添い・伴走型の支援を行う
 - ・相談支援において積極的な支援提案（訪問支援も含め）を行い必要な支援に繋ぐ事や、ワンストップの相談支援として相談者の抱える複合的な課題に対し、自立相談支援や必要な関係機関への繋ぎ等丁寧な支援に取り組んだ。

令和 5 年度の新規相談件数が、6,737 件（月平均約 561 件強）となっており倉敷市との仕様書で定めている年間達成目標である 1,548 件/年を大幅に上回る結果となった。

日々の、相談支援においての相談員の対応による苦情にならないように留意する事を意識し、支援に対する苦情件数は 0 件であった。（当センター苦情窓口へのアクセス件数）個別支援計画書作成を積極的に行い、生活再建が行えるまでの期間継続的且つ切れ目のない寄り添い・伴走型の支援を行い相談者個々の目標達成を目標に支援に取り組んだ。支援の過程において、相談者のアセスメントを専門的な観点を含め丁寧に行い、課題を抽出し連携できる関係機関とは積極的に連携を行った。

関係機関とは、随時情報共有（本人の同意を得ている場合）を行い連携が円滑に行えるよう、自立支援機関で連絡調整を行った。

その効果もあり、令和 5 年度支援計画策定件数 3,968 件（月平均 330 件）となっており、倉敷市との仕様書で定めている年間支援計画策定件数 803 件/年を大きく上回る結果となった。

・複合的な課題を抱えているケースでは、課題に応じて関わる機関が多数存在する為、センターが中心となり関係機関への情報共有や支援の方向性等を共有しながら、支援が途切れる事のないよう、関係機関が継続的に支援に関われる状況を構築する事を意識して取り組んでいる。

各分野（定例、就労、就労準備、ひきこもり）支援調整会議を実施し会議毎に参加機関が異なっており、困難ケースの情報共有や、支援の方向性、関係機関との連携した支援に努めた。また、他機関の会議や研修の参加、関係機関との同行支援など積極的に行

い、円滑な連携が行えるよう努め、各機関との連携、支援機関同士の顔の見える関係作り、関係機関が互いに支援内容を理解する事で円滑でスピーディーな支援連携が行う事ができた。

引きこもり相談も増加しており、訪問型支援・家族支援等、状況に応じた支援提案と共に、対象者との繋がりが持てるよう、積極的な支援を実施している。

引きこもり支援では主にアウトリーチ支援を中心に訪問支援を実施、また対象者本人だけではなく家族に向けての相談支援を行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ継続的な支援に取り組んだ。

今後も関係機関と積極的に連携し、切れ目のない継続的な支援が行い、相談者が主体となる自立支援を行う。

(3) 地域生活部門事業展開について

・生活困窮者個々のニーズに対する早期支援・早期解決、自立に向けた積極的な支援を行っていく。行政機関・医療分野・民生、児童委員・福祉分野などの関係機関等との円滑な連携できるよう取り組んでいく。

関係機関との連携を更に深めていく為、生活困窮者支援のプラットフォーム作りに着手する。地域連携・地域協働のネットワークを作り、生活困窮者の社会自立に向けての支援検討・連携支援の強化・地域の居場所支援者との繋がり等も目的とする。取り組みを行う。

生活困窮者が社会や地域で孤立する事がなく、自己有用感を持ち生活できるよう支援に取り組む事が求められている。

(4) 地域生活部門研修計画

月	活動内容
4月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議
5月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・令和5年度第1回「倉敷地区要保護児童対策地域協議会」 ・児島地区地域包括ケア推進室困難ケース検討会
6月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・SSW・福祉援護課・生活困窮支援関係事業者連携会議 ・令和5年度「児島地区要保護児童対策地域協議会」並びに「児島地区子育て支援協議会」会長・副会長の御報告 ・ひきこもり家族の為の講演会 ・自立相談支援事業等における支援体制の実態把握に関する調査研究事業報告会

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回ひきこもり支援を考える専門分科会 ・倉敷市高齢者・障害者権利擁護支援ネットワーク会議
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度ひきこもり家族教室 ・令和5年度第2回ひきこもり当事者会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第1回倉敷市における重層的支援体制整備事業研修会 ・全国ギャンブル依存症家族会 依存症基礎講座 ・令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ・倉敷市市民後見人養成講座説明会 ・令和5年度第2回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・第1回課題解決ワークショップ「地域において孤独孤立の状態にある方の理解・支援について」
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度自立支援事業従事者養成研修 ・令和5年度就労支援事業従事者養成研修 ・令和5年度倉敷地区要保護児童対策協議会代表者会議 ・NPO 法人岡山きずな活動 20周年記念講演会「いつか笑える日がくる。」
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・ひきこもり支援フォーラム 2023「支援者に伝えたいこと」 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研修 ・市民公開講座 ヤングケアラーってなあに？ ・茨木大学学生卒業研究「なぜ自治体は生理の貧困対策に取り組むのか」インタビュー
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度福祉講演会「生きづらさにどう寄り添っていくか」講師登壇 ・第10回生活困窮者自立支援全国研究交流会 ・令和5年度くらしきハーモニーセミナー 第5回デートDVってなあに ・令和5年度第3回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・ひきこもり voice ステーション フォーラム
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研 ・令和5年度テーマ別研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援研修 ・令和5年度玉島地区心の健康づくり講座 「社会から孤立しない孤立させない支援について」講師登壇 ・令和5年度生活困窮者自立支援 関係機関研修会 「つながりでこれからの生活困窮者支援を考える」

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 孤独孤立官民連携プラットフォーム ひきこもりの理解を深める講演会「ひきこもる ところ を理解する」 ・令和5年度 水島地区要保護児童対策協議会代表者会議
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ・令和5年度テーマ別研修 生活困窮者支援における子どもと家族支援研修 ・令和5年度中国・四国ブロック研修 ・令和5年度「ひきこもり担当者連絡会」 ・令和5年度岡山県ひきこもり地域支援センター ひきこもり専門研修会 ・令和5年度玉島地区要保護児童対策地域協議会地区代表者会議 ・地域NPO法人とのケース検討会議 ・重層型支援体制整備事業における支援連携室とのケース検討会 ・一般社団法人日本少額短期保証協会「第5回孤独死対策サミット」
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度児島地区要保護児童対策協議会 ・重層型支援体制整備事業における支援連携室とのケース検討会 ・全国ギャンブル依存症家族会 依存症フォーラム ・自立相談支援事業における「委託ガイドライン」意見交換会 ・第3回「生活困窮者自立支援制度の事業評価の方法及び帳票類の標準化に関する調査研究事業」統一帳票（案）作成ワーキンググループ 委員委属
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・第4回「生活困窮者自立支援制度の事業評価の方法及び帳票類の標準化に関する調査研究事業」統一帳票（案）作成ワーキンググループ 委員委属 ・全世代のひきこもり支援 家族会・居場所を学ぶ研修会 ・北九州市における「住まい支援システム」を考える研修会 ・令和5年度倉敷市生活支援体制整備事業 支え合いのまちづくりフォーラム ・孤独孤立対策官民連携プラットフォーム 令和5年度 第2回シンポジウム「孤独・孤立対策協議会設立に向けた地域の取り組み」 ・令和5年度居住支援全国サミット 居場所支援の仲間づくり ・令和5年度赤い羽根福祉基金「今こそ求められる緊急一時支援」

2023 年度 社会福祉法人 めやす箱
倉敷市生活困窮者自立相談支援事業
事業報告

1. 事業概要

倉敷市生活自立相談支援センターにおける人員配置に実績について
 (施設の名称) 倉敷市生活自立相談支援センター 家計改善支援事業
 (実施場所) 岡山県倉敷市阿知 1 丁目 7 番 2-804-2 号
 ぐらしきシティープラザ西ビル 8 階
 (事業責任者) 池田 朋宏
 (資格) 社会福祉士・精神保健福祉士・ファイナンシャルプランナー3 級
 (センター職員配置図) (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	センター長 主任相談員	相談員	相談員件家計相 談支援員	就労支援員	合計
常勤職員	0.9	4	0.4	2	8.3
非常勤職員				1	

2. 事業実績

令和 5 年度目標値		令和 5 年度実績値	達成・未達成
新規相談件数	1,548 件/12 ヶ月	6,737 件/12 ヶ月	達成
支援計画策定件数	803 件/12 ヶ月	3,968 件/12 ヶ月	達成
就労支援対象者件数	516 件/12 ヶ月	2,720 件/12 ヶ月	達成
就労、増収率 (一般就労者・増収者比率 /就労支援対象者件数)	75%	74% 一般就労者：698 名 増収者：1309 名	未達成
プラン作成者のうち、自立 に向けて改善された割合	90%	99.9% 評価総数 3730 件 変化が見られなかった件数 5 件 参考資料：13. 評価⑥	達成

(令和 5 年各支援実績値)

●自立相談支援事業における就労支援実施状況

(就労支援実施結果件数)

就職成功者数・・・ 698 人

就労増収者・・・ 1309 人

- 自立相談支援事業における食糧支援実施状況（食糧支援実施件数）
令和5年4月～令和6年3月・・・620件（述べ実施件数 3,254件）
- デリシャスフードキッズクラブ支援実施状況（支援実施件数）
令和5年4月～令和6年3月・・・107件
- 自立相談支援事業における無料職業紹介実施状況（無料職業紹介実施件数）
令和5年4月～令和6年3月・・・利用者数2316人（延べ人数）
求職者数（利用者数）・・・333人
求人数（求人掲載企業）・・・205件
企業開拓数・・・87件
- 居住支援実施状況
令和3年4月～令和4年3月・・・508件

3. 事業の具体的内容について

(1) ワンストップの相談支援の実践

・相談支援において積極的な支援提案（訪問支援も含め）を行い必要な支援に繋ぐ事を積極的に行った。

また、ワンストップの相談支援の実践として相談者の抱える複合的な課題に対して、自立相談支援は基より、必要な関係機関への繋ぎを含め丁寧な支援の実践を行った。

令和5年度の新規相談件数が、6,737件（月平均相談者 約560件）となっており、目標を大幅に上回る相談対応を行う事ができた。

日々の、相談支援においての相談員の対応による苦情にならないように留意する事を意識し、支援に対する苦情件数は0件であった。（当センター苦情窓口へのアクセス件数）

支援同意を得て、個別支援計画書作成を積極的に行い、生活再建が行えるまでの期間継続的且つ切れ目のない寄り添い・伴走型の支援を行い相談者個々の目標達成を目標に支援に取り組んだ。支援の過程において、相談者のアセスメントを専門的な観点を含め丁寧に行い、課題を抽出し連携できる関係機関とは積極的に連携を行った。

関係機関とは、随時情報共有（本人の同意を得ている場合）を行い連携が円滑に行えるよう、自立支援機関で連絡調整を行った。

その効果もあり、令和5年度支援計画策定件数 3,968件（月平均作成件数 330件）となっており、目標値の年間支援計画策定件数 803件を大きく上回りより多くの支援に取り組む事ができている。

センター独自支援の一つである、食糧支援も継続的实施運用しており、依然食糧支援のニーズも高く、支援の繋がるきっかけにもなっている。食糧支援によって、飢えを解消できた相談者も多く、より一層継続的な支援の必要を感じている。

食糧支援利用者が、年間620人となっており月平均で換算する51人に提供を実施した。

食糧の確保が課題ではあるが、地域からの寄付や企業と連携する事で賄っている他、当法人

の社会貢献事業の取り組みで年2回実施しているフードドライブ事業においても、継続的な食糧確保の場になっている。

(2) 関係機関との連携強化を行い、継続的支援の実践

・複合的な課題を抱えているケースでは、課題に応じて関わる機関が多数存在する為、センターが中心となり関係機関への情報共有や支援の方向性等を共有しながら、支援が途切れる事のないよう、支援マネジメントを行い、関係機関が継続的に支援に関われる状況を構築する事を意識して取り組んでいる。

令和5年度の関係機関からの繋ぎのあった件数は19,591件(延べ件数含む)となっており、各機関との連携、支援機関同士の顔の見える関係作り、関係機関が互いに支援内容を理解する事で円滑でスピーディーな支援連携が行えた事ができた。

各分野(定例、就労、就労準備、ひきこもり)支援調整会議を実施し会議毎に参加機関が異なっており、困難ケースの情報共有や、支援の方向性、関係機関との連携した支援に努めた。また、他機関の会議や研修の参加、関係機関との同行支援など積極的に行い、円滑な連携が行えるよう努め、各機関との連携、支援機関同士の顔の見える関係作り、関係機関が互いに支援内容を理解する事で円滑でスピーディーな支援連携が行う事ができた。

(3) 一般就労開始者・就労増収者の更なる増加

・ハローワークや民間企業と積極的に連携を行い、就労者や収入増収者を増やし生活再建が図れるよう就労支援を行った。

令和5年度就労者698人 増収者1309人

生活保護受給者等就労自立促進事業では、毎月ハローワーク担当者と支援調整会議を実施し、支援対象者について情報提供を行い支援の方向性について共有している。連携体制が確立している為、相談者に対してより手厚い支援提供が行えている。

また、無料職業紹介事業での支援を積極的に展開している。無料職業紹介事業における支援の独自性として、相談者の特性に応じた求人紹介、求職者の就労支援(ジョブサポート支援)、面接等に必要な支援を行い、相談者の状態や状況に応じた就労支援を実施。

職場定着支援では、就職先の企業と連携し職場訪問を行ったり定期的に企業担当者と連絡を取り合う等、就労定着に向けた支援に取り組んでいる。

令和5年度生活保護受給者等自立促進事業利用者 102件

生活保護受給者等自立促進事業利用者の利用期間である9か月利用しても就職に結びつかない相談者・就労準備事業利用後の相談者・長期離職者や引きこもりからの脱却後の支援等、職業安定所での就職支援が困難な対象者の受け皿として重要な支援となっている。

令和5年度無料職業紹介事業求職者数は、2316件となっており、利用者ニーズは依然高い傾向にある。

利用登録者の特性として、ハローワークでの就職活動ではなかなか就職に結び付かない

高齢者やフリーター・ニート、また引きこもりの状況下にある方々が多く、より本人の状況に応じた職場探し・職場定着等手厚い支援が必要な対象者が増加している。

相談者の特性に応じた、就労スキルアセスメントを丁寧に行い、相談者の強み弱みを把握し、企業見学や企業開拓を実施し相談者と企業とのマッチングを行い、就職に結びつける取り組みを実施。

その他にも、就労セミナーを開き就労に必要なスキルの習得に向けた支援や、企業人材担当者を講師に招き、必要とされる人材像について話をしてもらうなど、個々の状態・状況に応じた支援を行っている。

令和5年度就労セミナーの開催も以下の日時で実施している。

・第1回セミナーテーマ

「自分の得意なことや、これまで成功したことを思い出して形にしてみましょう！」

令和5年7月22日実施 参加者 7名

・第2回セミナーテーマ

「就労メンタルを整え強化しよう」 令和6年3月15日実施 参加者10名

セミナーでは、当事者同士での交流の場、企業担当者とのマッチングなど様々な機会を提供し、コミュニケーションの構築など社会性の向上にも繋がるよう支援も目的として取り組んだ。

(4) 任意事業との連携

・くらしき就労準備支援センター（就労準備支援事業）・いえさぼ（小学生訪問型事業）・学習教室くらすぼ（学習支援事業）・一時生活支援事業リンクと連携し、相談者の状況に応じて円滑な連携に取り組んだ。

くらしき就労準備支援センターとの連携について、

令和5年就労準備支援に繋いだ相談者 21件（支援決定述べ件数含む）の繋ぎを実施。

自立支援センターでアセスメントを行い、就労の準備的支援が必要な相談者に対して、くらしき就労準備支援センターと連携した支援に取り組んだ。

毎月支援調整会議を実施、新規利用者の情報共有や支援の方向性の検討、支援継続者のモニタリング等を行う事で、就労準備利用期間中から事業終了後の連携を密に支援を実施する事ができた。

・いえさぼ（小学生訪問型事業）・学習教室くらすぼ（学習支援事業）との連携について、利用開始前の初回利用アセスメントは、自立支援機関で実施し対象児のアセスメントや世帯全体の状況把握も行き、各機関と連携した支援を検討していった。事業実施中に関しても、各団体との情報共有は行き、生活支援を継続して行っている。

いえさぼについては、毎月定期的に支援調整会議を行い利用世帯の状況把握や課題の共有に取り組んだ。学習教室くらすぼについては、適宜ケース共有を行い課題が確認される場合には、くらすぼ連携して世帯支援に取り組んでいる。

令和5年度 いえさば利用繋ぎ件数 42件

令和5年度 学習教室くらすば件数 127件

・一時生活支援事業については、利用前のアセスメントから利用時の就労支援・家計支援・転居支援、利用後の自活生活安定のための継続支援等、一定期間継続した支援を実施。

また、社会福祉法人リンクや福祉援護課、ハローワーク等と連携を行う為適宜支援調整会議を実施、支援の方向性・目標・到達地点などを確認しながら、支援に取り組む事ができた。具体的には、概ね3か月の利用期間の中で職の確保・住まいの必要な資金の確保・居住の確保を行う支援を実施。

また、携帯電話などの確保、家族との連携など、多岐に渡っての支援が必要となる為、関係機関と連携したスピード感のある支援を実施している。

転居支援についても、「保証人がいない」「初期費用が工面できない」「短期間での入居が必要」などの課題がある相談者に対して不動産業者と連携し、低家賃の物件、保証人不要な物件など相談者の状況に応じた物件情報を共有、保証人がいない場合、保証協会やNPO団体の保証人制度を利用した支援する等、他分野との支援連携を行い、早急な支援を行えている。

令和5年度一時生活支援事業利用者 5件

(5) 一人親支援の対策の強化

・養育費の問題・就労問題・家計の問題等、貧困に陥る課題について、関係機関と連携し包括的且つ継続的に支援を実施した。

養育費等の課題については、ウィズアップ倉敷や弁護士と連携し、手続等の補助的支援や裁判所への動向支援等を行い、生活支援では、児童扶養手当や一人親の貸付等の同行支援、ハローワークマザーズ部門と連携した、センターのフードバンクやデリシャスキッズクラブと連携した食糧支援を実施している。

令和5年度デリシャスフードキッズクラブ (DFK) 新規利用者 107件となっており、生活支援に於いて重要な支援ツールとなっている。

デリシャスキッズクラブを運営している順正学園とは、相談者の情報(同意済み)綿密に連携し相談者の家庭状況や困窮状況、センターでの支援状況共有など円滑食糧支援を実施している。

・生理の貧困についても取り組んでおり、生理用品の寄付を受けて当センターで対象者に配布している。令和5年度生理用品配布利用者は、212件となっており、生理の貧困に対する対策を継続的に行っている。

その他にも関係機関との連携では、地域で活動する団体トワイライトホームや子ども食堂ミソラ♪(子ども食堂・子育て支援団体)と食料支援を通じて連携し、個別のケースでの連携を実施している。

(6) 引きこもり等、配慮が必要とされる相談者の支援強化

・引きこもり等の相談に対して、訪問型支援・家族支援等、状況に応じた支援提案と共に、対象者との繋がりが持てるよう、積極的な支援を実施している。

引きこもり支援では主にアウトリーチ支援を中心に訪問支援を実施、また対象者本人だけではなく家族に向けての相談支援を行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ継続的な支援に取り組んだ。

毎月定期的に引きこもりの支援調整会議を実施し、生活自立相談支援センターに相談のあった引きこもり当事者やその家族に対する支援の方向性やアプローチ方法等、会議参加機関（岡山県引きこもりセンター・倉敷保健所・青少年育成センター）から、専門的視点での意見助言、情報提供を受け、当センターの支援に反映している。

対象者と支援に繋がるまでの期間は、自宅へのアウトリーチや家族会への参加の促し、家族会への同行参加等の支援を行い、長期的支援を想定しながら継続的な支援を実施。

支援対象者との繋がりができてからは、信頼関係の構築に尽力しその後就労準備支援や無料職業紹介事業を活用し、オーダーメイド型の支援に繋げる事ができている。

令和5年度引きこもり新規相談者数 572件

令和5年度引きこもり支援調整会議新規検討者 30件

令和5年度支援継続等のモニタリング検討件数 56件

・生活自立相談支援センターで居場所支援を実施している。

ワークショップテーマ「クリエイションしよう！」

「クリエイト」と「コミュニケーション」の場を目的とした。参加者で一つのことに取り組み、コミュニケーションの機会を得ることで、社会との関わりのきっかけとなる。自分に来ることを知ることで、自身を持つことが出来る。生活スキルを学ぶことが出来た。

引きこもり当事者3名の参加があり、その家族の参加含め5名の参加で実施。

当事者3名の状況は様々な課題を抱えており、Aさんは学校卒業後、家族との会話もほとんど無く自室で生活。センターでの面談を通し外出する機会を徐々に増やす事ができている7が発語がでない状況。Bさんは福祉サービスでの働き方含め職を転々としてきた。昨年県外より岡山に来たが、家族以外との繋がりが無かったがセンターの支援が介入し少しずつ繋がりが作れるようになった。Cさん学生時代より不登校で、高校卒業後就職するが退職。現在無職。人とのコミュニケーションに苦手な家で引きこもっていた。

上記の当事者の参加があり、アンケート結果では久しぶりに他人と話をした、楽しかった、満足した、次回も参加したいなど前向きな意見を多く頂く事ができた。

当センターが、相談者にとっての一つの場所になれるよう取り組んでいる。

・引きこもり支援では、専門的な支援スキルが必要となる為、引きこもり研修会に積極的に参加している。また、研修の中で当センターの支援について周知する事で、具体的な連携方法も共有する事ができ、支援連携が円滑に行えた事例もある。その他にも、倉敷市自立支援

協議会精神部会のメンバーとして、倉敷市の関係機関と連携し引きこもり支援を含めた関係機関との繋がり、社会資源の発見や新たな繋がりなど、生活自立相談支援センターの引きこもり支援の基盤を整える事に繋がっている。

(7) 自立相談支援員と家計改善支援員のスキルアップに取り組み

・自立相談支援員・家計改善支援員が国の研修に参加しスキル向上に取り組んだ。また、積極的に様々なテーマの研修に参加し、相談員のスキル向上に取り組んでいる。

勉強会や研修会には積極的に参加し関係機関と連携や社会資源の構築、新たな連携先の確保等を行い、相談員個々のスキル向上に取り組んでいる。

また、相談員のファイナンシャルプランナー取得者を増加させる事で家計支援を更に向上させる取り組みも実施。令和5年度新たに1名ファイナンシャルプランナー3級を取得する事ができている。

●令和5年度関係機関一覧

福祉援護課・生活福祉課・子育て支援課・子ども相談センター・健康づくり課・保健課・生活安全課・消費生活センター・健康長寿課地域包括ケア推進室・介護保険課・男女共同参画課、男女共同参画推進センター・資産税課・納税課・国民健康保険課・住宅課・障害福祉課・倉敷市保健所・倉敷市教育委員会・倉敷職業安定所ハローワーク・高齢者支援センター・倉敷市社会福祉協議会・倉敷地域基幹相談支援センター・倉敷就業生活支援センター・倉敷地域活動センター I 型・民生委員・スクールソーシャルワーカー・民生委員・不動産業者・医療機関・その他関係機関多数

4. 令和5年度活動実績表

● 毎月定例・就労準備・家計改善支援事業・ひきこもり支援対象者支援調整会議・プラン確認会議を毎月開催している。

月	活動内容
4月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議
5月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・令和5年度第1回「倉敷地区要保護児童対策地域協議会」 ・児島地区地域包括ケア推進室困難ケース検討会
6月	・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・SSW・福祉援護課・生活困窮支援関係事業者連携会議 ・令和5年度「児島地区要保護児童対策地域協議会」並びに「児島地区子育て支援協議会」会長・副会長の御報告 ・ひきこもり家族の為の講演会 ・自立相談支援事業等における支援体制の実態把握に関する調査研究事業報告会

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回ひきこもり支援を考える専門分科会 ・倉敷市高齢者・障害者権利擁護支援ネットワーク会議
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度ひきこもり家族教室 ・令和5年度第2回ひきこもり当事者会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第1回倉敷市における重層的支援体制整備事業研修会 ・全国ギャンブル依存症家族会 依存症基礎講座 ・令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ・倉敷市市民後見人養成講座説明会 ・令和5年度第2回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・第1回課題解決ワークショップ「地域において孤独孤立の状態にある方の理解・支援について」
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度自立支援事業従事者養成研修 ・令和5年度就労支援事業従事者養成研修 ・令和5年度倉敷地区要保護児童対策協議会代表者会議 ・NPO法人岡山きずな活動20周年記念講演会「いつか笑える日がくる。」
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・ひきこもり支援フォーラム2023「支援者に伝えたいこと」 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研修 ・市民公開講座 ヤングケアラーってなあに？ ・茨木大学学生卒業研究「なぜ自治体は生理の貧困対策に取り組むのか」インタビュー
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度福祉講演会「生きづらさにどう寄り添っていくか」講師登壇 ・第10回生活困窮者自立支援全国研究交流会 ・令和5年度くらしきハーモニーセミナー 第5回デートDVってなあに ・令和5年度第3回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・ひきこもり voice ステーション フォーラム
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研 ・令和5年度テーマ別研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援研修 ・令和5年度玉島地区心の健康づくり講座 「社会から孤立しない孤立させない支援について」講師登壇 ・令和5年度生活困窮者自立支援 関係機関研修会 「つながりでこれからの生活困窮者支援を考える」

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 孤独孤立官民連携プラットフォーム ひきこもりの理解を深める講演会「ひきこもる ところ を理解する」 ・令和5年度 水島地区要保護児童対策協議会代表者会議
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ・令和5年度テーマ別研修 生活困窮者支援における子どもと家族支援研修 ・令和5年度中国・四国ブロック研修 ・令和5年度「ひきこもり担当者連絡会」 ・令和5年度岡山県ひきこもり地域支援センター ひきこもり専門研修会 ・令和5年度玉島地区要保護児童対策地域協議会地区代表者会議 ・地域NPO法人とのケース検討会議 ・重層型支援体制整備事業における支援連携室とのケース検討会 ・一般社団法人日本少額短期保証協会「第5回孤独死対策サミット」
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度児島地区要保護児童対策協議会 ・重層型支援体制整備事業における支援連携室とのケース検討会 ・全国ギャンブル依存症家族会 依存症フォーラム ・自立相談支援事業における「委託ガイドライン」意見交換会 ・第3回「生活困窮者自立支援制度の事業評価の方法及び帳票類の標準化に関する調査研究事業」統一帳票（案）作成ワーキンググループ 委員委員
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、就労、就労準備、ひきこもり対象者支援調整会議 ・第4回「生活困窮者自立支援制度の事業評価の方法及び帳票類の標準化に関する調査研究事業」統一帳票（案）作成ワーキンググループ 委員委員 ・全世代のひきこもり支援 家族会・居場所を学ぶ研修会 ・北九州市における「住まい支援システム」を考える研修会 ・令和5年度倉敷市生活支援体制整備事業 支え合いのまちづくりフォーラム ・孤独孤立対策官民連携プラットフォーム 令和5年度 第2回シンポジウム「孤独・孤立対策協議会設立に向けた地域の取り組み」 ・令和5年度居住支援全国サミット 居場所支援の仲間づくり ・令和5年度赤い羽根福祉基金「今こそ求められる緊急一時支援」

研修一覧表

実施月	研修名	研修内容
R5.8	令和5年度第1回倉敷市における重層的支援体制整備事業研修会	重層型支援体制整備事業の概要を学ぶ。 倉敷市における重層型支援体制整備の在り方進め方、連携方法など具体的な内容を基に実践に活か

		す。
R5.8	第1回課題解決ワークショップ 「地域において孤独孤立の状態にある方の理解・支援について」	・行政、地域組織、NPOなどは移動に会い、組織の枠を超えて問題意識を共有。また、情報共感を重ね倉敷の抱える課題にアプローチする。
R5.9	自立支援事業従事者養成研修・就労支援事業従事者養成研修	・生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員を対象とした3種の養成研修
R5.12	令和5年度生活困窮者自立支援関係機関研修会「つながりでこれからの生活困窮者支援を考える」	・生活困窮者支援を通じた地域づくりにおいて、官民一体の連携・協働での地域作りが必要。また、困っている方々の早期発見の見守りネットワークの構築について学ぶ。
R5.12	令和5年度テーマ別研修	生活困窮自立支援制度の各事業に従事する方を対象とし、時勢にあわせ支援者の専門性を高め、支援の向上を図るため「孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援」「生活困窮者支援における子供と家族支援」をテーマに対象者を理解しアセスメント等の相談支援における視点や手法を取得する
R6.1	令和5年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修	厚生労働省の委託事業として、生活困窮自立支援制度に携わる都道府県の枠を超えた自治体間の行政職員や支援員の交流や支援のノウハウ伝達を目的とした研修
R6.1	令和5年度中国・四国ブロック研修	・1日目は生活困窮者自立支援制度の理念と基本姿勢について学び。2日目は、重層型支援体制整備事業の先進市の取り組み・ひきこもり支援について学ぶ
R6.3	北九州市における「住まい支援システム」を考える研修会	・2022年11月より地域共生づくりのための住まい支援システムのモデル事業を実施。事業の仕組み内容、関係機関との連携、対象者の支援について。
R6.3	孤独孤立対策官民連携プラットフォーム 令和5年度 第2回シンポジウム「孤独・孤立対策協議会設立に向けた地域の取り組み」	・令和6年4月施工予定の孤独孤立対策推進法では、孤独孤立対策協議会の設置が努力義務とされている。官民連携体制構築について、現在取り組んでいる先進市の状況を共有し、各市での設立に向けての参考とする。
R6.3	令和5年度居住支援全国サミット 居場所支援の仲間づくり	・住宅確保要配慮者に対する居住支援の体制を強化図る為、共重支援法人や居住支援協議会で行っている先進的な取り組みを情報共有する。

2023年度 社会福祉法人 めやす箱
倉敷市生活困窮者家計改善支援事業
事業報告書

1. 事業概要

倉敷市生活自立相談支援センター家計改善支援事業における事業の実施体制について

(施設の名称) 倉敷市生活自立相談支援センター 家計改善支援事業

(実施場所) 岡山県倉敷市阿知1丁目7番2-804-2号くらしきシティープラザ西ビル8階

(事業責任者) 池田 朋宏

(事業担当者) 大橋 拓馬

(資格) 社会福祉士・精神保健福祉士・ファイナンシャルプランナー3級

・1週5日とし、週2日(火・木)を家計支援業務に従事した。

月	火	水	木	金
自立相談	家計改善	自立相談	家計改善	自立相談

(職員配置図) (2023年4月1日~2024年3月31日)

	家計改善支援員	合計
主任相談員兼務	0. 1人	0. 1人
相談支援員兼務	0. 4人	0. 4人

2. 事業実績について

令和5年度目標値		令和5年度実績値		評価
家計改善支援事業 利用決定件数	48件/12ヶ月	家計改善支援事業 利用決定件数	50件/12ヶ月	達成
		新規相談件数	2,292件/12ヶ月	
		家計改善支援終了 目標と照らし合わせ家計再生が達成	12ヶ月 ・上回って達成1件 ・達成35件 ・ほぼ達成0件 ・一部達成9件 ・達成できなかった1件 ・事業延長3件	
		家計改善利用者返 済金額	1197.81万円/12か月	
		猶予申請件数	27件/12か月	

3. 事業目標達成の具体的取り組み

- ・家計収支の均衡がとれていない、家計管理に困難さを抱えている等、家計状況の悪化により、困窮状態に陥っている者や、最低限度の生活を維持することが出来なくなるおそれの

ある世帯に対し、家計改善支援事業を実施した。

多重債務や過剰債務を抱え、返済が困難になっているケースや、家賃や水光熱費、携帯料金、学費、税金などの滞納により生活が困難になっているケース等の家計改善支援に取り組んでいる。

- ・令和5年度家計改善支援事業の新規相談は2,292件、家計改善支援事業の利用数も50件となっており、年度当初の目標値を48件を達成している。
- ・家計改善支援事業では、定期的な家計相談を行い、本人や世帯の相談時家計表、家計表、キャッシュフロー表を作成して家計の見える化を図り、家計課題を可視化する支援を行っている。困窮に陥った背景、要因を分析し、作成した家計改善計画書を基に課題解決に向けた具体的な支援内容や家計改善の道筋を示しながら、相談者の家計管理能力及び家計管理に対する意識の向上、困窮状態の改善、生活再建を目的とした支援に取り組んだ。債務相談については、倉敷消費生活センターと連携し、債務整理のアドバイスや弁護士、司法書士等の専門家へ繋ぎを行っている。専門家と連携して、具体的な債務整理の方法を検討し、家計改善に向けた支援を行っている。

令和5年1月から、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会福祉協議会の緊急小口資金と総合支援資金の貸し付けの償還が開始している。償還が困難な相談者に対して、家計状況を確認しながら、償還に向けた返済計画の立案や、償還猶予の申請手続きの対応を行っている。

税金の滞納相談については、関係各所（納税課、国民健康保険課等）へ同行し、相談者と共に作成した家計表やキャッシュフロー表を用いて、滞納改善に向けた分納相談を行っている。定期的な家計相談を実施し、返済の状況確認や返済計画の見直しを行う等、伴走型の家計支援を実施している。

家計改善支援事業利用決定者のうち返済計画を立て、返済した金額については、今年度〇〇万円となっている。

相談者が主体となり、関係機関、専門家と連携し、返済計画を家計改善支援事業のプラン化することで、プラン内容に沿って返済することが出来ている。

定期開催している家計改善支援事業支援調整会議では、家計改善支援事業の利用が必要な相談者の課題や支援の方向性等について確認を行い、支援継続者のモニタリングや支援終了の有無についても検討している。

令和5年度家計改善支援事業支援調整会議新規検討者 50名

令和5年度家計改善支援事業支援調整会議モニタリング検討者 49名

モニタリング検討者は、家計改善支援事業支援調整会議において終結評価の内容として、「家計改善支援終結目標と照らし合わせて家計再生が達成した件数が 45件/12ヶ月」となっており、利用者の90%以上が家計改善支援の効果を実証できている。

（評価基準について）

A 収支バランスが改善した

- B 自立した生活の見込
- C 家計の中長期的な見通し及び債務滞納の解消
- D 家計理解と優先順位スキル

・これらの評価基準を基に、プラン内容に対する終結評価を行い、家計改善支援事業の効果検証を確認している。

○ 家計改善支援事業終結評価の内訳

- ① 上回って達成 1 件
- ② 達成 35 件
- ③ ほぼ達成 0 件
- ④ 一部達成 9 件
- ⑤ 達成できなかった 1 件

4. 年間活動計画

月	活動名
4 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
5 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
6 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
7 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
8 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
9 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
10 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
11 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
12 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
1 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
2 月	・家計改善支援事業 支援調整会議
3 月	・家計改善支援事業 支援調整会議

2023 年度 社会福祉法人 めやす箱
倉敷市ひきこもりサポート事業におけるアウトリーチ等の充実による自立相談支援
機能強化事業報告書

1. 具体的内容について

- ・引きこもり等の相談に対して、訪問型支援・家族支援等、状況に応じた支援提案と共に、対象者との繋がりが持てるよう、積極的な支援を実施している。

引きこもり支援では主にアウトリーチ支援を中心に訪問支援を実施、また対象者本人だけではなく家族に向けての相談支援を行っている。また、医療機関・保健機関・地域関係機関等と連携した支援の実施等、様々な視点から支援アプローチを行い当事者やその家族へ継続的な支援に取り組んだ。

毎月定期的に引きこもりの支援調整会議を実施し、生活自立相談支援センターに相談のあった引きこもり当事者やその家族に対する支援の方向性やアプローチ方法等、会議参加機関（岡山県引きこもりセンター・倉敷保健所・青少年育成センター）から、専門的視点での意見助言、情報提供を受け、当センターの支援に反映している。

対象者と支援に繋がるまでの期間は、自宅へのアウトリーチや家族会への参加の促し、家族会への同行参加等の支援を行い、長期的支援を想定しながら継続的な支援を実施。

支援対象者との繋がりができてからは、信頼関係の構築に尽力しその後就労準備支援や無料職業紹介事業を活用し、オーダーメイド型の支援に繋げる事ができている。

- ・令和5年度引きこもり新規相談件数 572 件
- ・令和5年度引きこもり支援調整会議新規検討者 533 件
- ・令和5年度支援継続等のモニタリング検討件数 56 件

2. 事業概要

(施設の名称) 倉敷市ひきこもりサポート事業におけるアウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

(設置場所) 岡山県倉敷市阿知1丁目7番2-804-2号
くらしきシティープラザ西ビル8階

(担当者) 文箭 美里

(事業責任者) 池田 朋宏

(資格) 社会福祉士・社会福祉主事・ファイナンシャルプランナー3級

3. 事業目標（具体的取り組み）

①新規相談者の増加

- ・新規相談件数は521件/年（3月分未計算）となっている。関係機関からの相談や、関係機関が相談者へセンターを情報提供し繋がるケースもある。センターがひきこもり等相談窓口であることを周知することが出来ている。

②アウトリーチ支援を通して関係機関との連携強化

- ・ひきこもり支援については、家族からの相談を受ける場合も多く、本人への支援介入に

についてはアウトリーチを行い、支援介入のタイミングを図っている。また、状況に応じて保健師やその他関係機関と連携を図り、役割を分担しながら支援に介入している。

- ・ひきこもり状態にある方は、コミュニケーションに不安がある方、就労経験がない方や就労のブランクがある方、就労に対する不安が強い方が多い。ひきこもり支援を通じて就労準備支援事業への繋ぎを述べ 18 名行っている。繋ぎを行った後、就労準備支援事業と月に 1 回支援調整会議を通して関係機関と連携した支援を行っている。
- ・不登校状態にある子どもがいる家庭に関しては、小学生訪問型学習支援事業への繋ぎを 39 名、子どもの学習支援事業への繋ぎを 44 名行っている。

③アウトリーチ支援員のスキルアップへの取り組み

- ・ひきこもり支援に関する研修やひきこもり支援を考える部会など研修や勉強会に積極的に参加し、専門的な知識取得やスキル向上に向け取り組みを行った。

④社会資源の把握・連携

- ・居場所やサロン、子ども食堂など地域にある資源を活用した支援を実施している。
- ・2024 年 2 月 24 日居場所支援を目的としたワークショップを開催
内容:「たこ焼き器を使いベビーカステラの作成、炊飯器を使いスポンジケーキの作成」
社会的な繋がりが少ない、特にひきこもり状態となっている方を対象に、外出する機会になる場として開催した。一つのことに共同で取り組むことで、コミュニケーションの機会を得ることができている。また、社会との関わりのきっかけとなり、自分に来ることを知ることにより、自身を持つことが出来ている。

5. 事業目標値

令和 5 年度目標値		令和 5 年度実績値		評価
新規相談件数 (本人以外も含む)	8 件	新規相談件数 (本人以外も含む)	572 件	達成

6. 職員配置図 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	ひきこもりアウトリーチ支援員
常勤職員	1 名

7. 年間活動計画

月	活動内容
4 月	・ひきこもり対象者支援調整会議
5 月	・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和 5 年度第 1 回倉敷地域自立支援協議会精神部会
6 月	・ひきこもり対象者支援調整会議 ・ひきこもり家族の為の講演会 ・令和 5 年度第 1 回ひきこもり支援を考える専門分科会
7 月	・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和 5 年度ひきこもり家族教室

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第2回ひきこもり当事者会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第2回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・第1回課題解決ワークショップ「地域において孤独孤立の状態にある方の理解・支援について」 ・家族教室（倉敷市保健所）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第2回ひきこもり支援を考える専門分科会 ・家族教室（倉敷市保健所）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・ひきこもり支援フォーラム2023「支援者に伝えたいこと」 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研修 ・市民公開講座 ヤングケアラーってなあに？ ・家族教室（倉敷市保健所）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第3回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・ひきこもり voice ステーション フォーラム ・家族教室（倉敷市保健所）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第3回ひきこもり支援を考える専門分科会 ・令和5年度地域保健総推進事業 ひきこもり相談支援実践研修会D研 ・令和5年度テーマ別研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援研 ・令和年度孤独孤立官民連携プラットフォーム ひきこもりの理解を深める講演会「ひきこもる ところ を理解する」
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度テーマ別研修 生活困窮者支援における子どもと家族支援研修 ・令和5年度「ひきこもり担当者連絡会」 ・令和5年度岡山県ひきこもり地域支援センター ひきこもり専門研修会 ・令和5年度玉島地区要保護児童対策地域協議会地区代表者会議 ・家族教室（倉敷市保健所）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・令和5年度第4回倉敷地域自立支援協議会精神部会 ・ひきこもりサポート事業「クリエイション」開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり対象者支援調整会議 ・全世代のひきこもり支援 家族会・居場所を学ぶ研修会